

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		水源地域等保安林整備		路河川名等		—				
事業毎の通番		1		市町村名		駒ヶ根市				
事業目的		駒ヶ根市の竜東地区は、同市の水源地域にも位置づけられている重要な流域であるが、過去に度々大規模な災害により森林に被害が発生し、復旧工事がすすめられてきた。しかし、近年の豪雨災害や経年侵食により、改めて森林荒廃や山腹崩壊等が顕著化してきているため、森林整備と一体的に荒廃地復旧を行い、森林の持つ水源涵養や土砂災害防止機能の高度発揮を図る。		箇所名(ふりがな)		中沢 (なかさわ)				
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		森林法				
関連する事業、計画等										
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家40戸、国道30m、県道400m、市道1100m								
着手年度		平成27年度		事業期間		2年間				
完成年度(見込み)		平成28年度		費用対効果		20.9				
全体事業内容(主な工種)		山腹工0.08ha(土留工3個、法枠工395㎡ほか) 溪間工(谷止工2個)、森林整備 13.3ha		事業費(千円)		79,500				
年度事業内容(主な工種)				国庫		39,750				
				その他		0				
				県債		35,775				
				一般財源		3,975				
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 人家40戸、国道30m、県道400m、市道1100mを保全する。								
		間接的効果(定量的・定性的) 森林の持つ水源涵養機能、地域の生活環境の保全や自然環境の維持向上に寄与する。								
評価の視点	必要性	【人家戸数】 40戸 【公共施設数】 国道30m、県道49号400m、市道1100m 【災害時要援護者関連施設の有無なし】 【保安林・林業用施設】 保安林率 46% 水かん、干害					評価	B		
	重要性	【過去の災害履歴】 H22拡大崩壊 【交通遮断による地域経済への影響】 影響度中 県道49号 【地域防災計画上の位置付け】 位置付けあり 駒ヶ根市防災計画					評価	A		
	効率性	【費用便益比(B/C)】 B/C=20.88 【事業期間】 事業年数 2年(H27~H28) 【工法等の比較検討】 検討あり 【流域の総合調整】 伊那建設事務所と調整済					評価	A		
	緊急性	【流域の地形、地質】 破碎帯 領家帯(縞状片麻岩、片麻岩状石英閃緑岩等) 【平均溪床勾配(平均山腹勾配)】 平均山腹勾配40° 【下流の堰堤等の整備状況】 下流に他所管堰堤あり 【山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域】 指定なし					評価	B		
	計画熟度	【事業情報の共有】 所有者へは説明会実施済み、県行造林については林産係周知 【地域の取り組み】 市から事業要望あり 【地域の合意形成】 事業目的について合意形成が図られている 【住民との協働】 地元財産区による森林整備					評価	B		
	部意見	山腹崩壊が上方の県道直近まで迫っており、早急に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		山腹崩壊が顕著になってきており、今後の降雨等により拡大崩壊が想定される。近隣に県道があることから重要性が認められる。		評価結果	総合評価	O

事業概要説明図表

位置図

山腹工 平面図




● 山腹工

▽ 溪間工

● 森林整備

山腹崩壊状況：崩壊が県道直下まで及んでいる。

森林整備対象森林：下層木が密生





事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当地域は昭和36年に発生した大規模災害により甚大な被害を被り、以降治山事業及び砂防事業が連携して流域対策が進められてきた。平成11年には広範囲に渡る雨水害により倒伏や幹折等の大規模な森林被害が発生し、荒廃森林の復旧が進められてきたが、15年余りが経過して保育作業が必要な森林が多く存在する。また、中沢峠付近において地域の重要な交通網である県道に近接する保安林で崩壊が発生したことから、早急に森林整備及び荒廃地復旧をする必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	・H26.5.27 所有財産区より森林整備の要望 ・H26.6.5 崩壊地に近接している県道と国道を保全する必要があることから、市より要望
③事業説明等の経緯	・H26.5.27 森林整備の事業説明済み ・H26.10.29 所有者及び市町村、林産係とともに現地説明会実施済み
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	当該流域では、駒ヶ根市が県条例に基づく水道水源保全地域指定を進めており、当事業においても水源涵養機能の維持増進に配慮した森林整備を推進していく。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・工事実施の際は、重要観光地(分杭峠)への県道に近接し、通行規制等県道への影響があることから、工法等検討とともに地元住民や観光客への説明及び周知をする予定。 ・森林整備予定箇所周辺は草山が多いことから、マツタケの収穫量等に影響が無いよう配慮して整備を進める。
⑥地域活性化への影響と配慮	・分杭峠への観光客に影響が出ないように、施工時期や交通規制を考慮して施工する。 ・草山の多い地域であるため、マツタケ等の特産林産に影響が出ないようにする。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35.709461
	東経:E 138.063898